

1 小学校外国語活動における教育課程実施上の課題と指導上の留意事項

(1) 児童が「聞きたい」「話したい」と思う活動の工夫

① 平成 24 年度実施の小学校外国語活動実施状況調査結果から

全国から抽出された中 1 生徒、英語科教員に行った調査結果は次のとおりである。(一部抜粋)

- ・「英語で簡単な会話をする事」について、小学校の英語の授業が役に立ったと感じている中 1 生徒が、80.5%いる。また、「英語で簡単な会話をする事」について、小学校でもっと学習しておきたかったと思っている中 1 生徒が、70.3%いる。
- ・平成 24 年度、89%の中 1 生徒が「英語が使えるようになりたい」と答えている。
- ・平成 24 年度、72.9%の英語教員が、小学校外国語活動において「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育成されている」と感じている。

(仙台市が実施した外国語活動実施状況調査では、小学校の教員が指導しやすいのは「歌やゲーム」との結果が出た。)

以上のことから、授業において充実が求められるのは、児童が外国語を用いて友だちとコミュニケーション活動を行うことであると言える。

② Hi, friends! 各単元末の Activity の工夫

Hi, friends! を活用した指導案が文部科学省の HP に掲載されているので、積極的に活用していただきたい。特に、各単元末の Activity を実施する際には、児童の「聞きたい」「話したい」という意欲が高まるように、指導者が心の内面に働きかける言葉がけをすることが大切である。競争やゲーム形式に終始するのではなく、その Activity の価値を理解させ、心と心の通い合ったコミュニケーション活動を行わせたい。

③ クラスルーム・イングリッシュの積極的活用

指導者は、積極的に外国語を用いようとするモデルを示すことが重要である。一方、指導者が授業で用いる英語は Hi, friends! で扱われている表現にとどまっている場合が見られる。授業にかかわる指示や児童への賞賛など、指導者が英語を使用する場面を増やすことが求められる。その際は、児童に無理なく伝わるように、短い表現で話したり、ゆっくりはっきり話したりするなどの工夫が必要である。ジェスチャーや実物を用いて視覚に訴えることも有効である。

(2) 校内指導体制の充実

① 仙台市小学校外国語活動実施状況調査結果から

各学校での指導の充実を図るためには、授業研究会や各種研修会に参加した先生が学んだことをもとに校内研修を実施するなどして、「教員個人の指導力」から「教員全体の指導力」に高めていくことが大切である。しかし、平成 24 年度に実施した仙台市小学校外国語活動実施状況調査では、「職員の研修について、十分・どちらかと言えば十分」と答えた学校は 30%であることから、教員全体の指導力を高めるための体制が十分ではないことが考えられる。

② 校内指導体制の充実のために

全校による指導体制の充実を図るために、次のような方法が考えられる。

- ・文部科学省が作成し各学校に配付した「小学校版 新学習指導要領に対応した外国語活動及び外国語科の授業実践事例映像資料 1・2・3」を活用した全校による校内研修を行う。
- ・外国語活動の授業を 6 校時目に行い、他学年の先生が授業を参観したり、T2 として指導に加わったりする機会を設定する。

小学校 外国語活動

2 小中連携・小小連携について

(1) 小学校外国語活動・中学校外国語 小中連携推進協議会について

① 小中連携と小小連携の意義

小学校外国語活動の実施により、英語の学習過程が大きく変化した。学びの質を高めるためには、小中の教員が各学校段階のねらいや授業内容等を正しく理解し、継続性と発展性のある指導を行うことが重要である。そのために、小中連携が必要である。小中連携が成立するためには、小学校間である程度統一性の取れた指導が行われていることが前提となる。

② 小中連携の実際

本協議会では、中学校区ごとに今後の小中連携の進め方について話し合った。検討された具体策の主なものは、次のとおりである。小中連携を行う目的は、そこから得たことを小学校での指導の充実に生かすことである。

- ・互いの授業参観と授業検討会
- ・互いの授業をビデオに撮影し、交換して視聴
- ・外国語に関する小中情報交換会の設定
- ・ALT を通じた小中の授業に関する情報交換
- ・中学校教員による小学校の出前授業
- ・小学生が中学校を訪問し、中学校の授業を体験

3 外国語活動の教材及び指導資料について

(1) Hi, friends!の配付

平成 26 年度に使用する分の教材整備費予算は確保済みである。ただし、デジタル教材の配付は行わないので、各学校で保管する必要がある。

(2) 授業実践映像資料

文部科学省は「小学校版 新学習指導要領に対応した外国語活動及び外国語科の授業実践事例映像資料(DVD)」を作成し、平成 22 年度と 24 年度に各学校に配布した。更に、今年度は“Hi, friends! 2 Lesson 7 We are good friends.”の指導事例を収録した映像資料を作成した。本単元は外国語活動の全ての要素が詰まった単元であることから、各学校において本映像資料を校内研修等で視聴し、授業の充実に活用していただきたい。

(3) ネット上の資料

① 外国語活動教材“Hi, friends!”の「年間指導計画」及び「学習指導案」

http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1314837.htm

② 小学校外国語活動における評価方法等の工夫のための参考資料

http://www.nier.go.jp/kaihatsu/hyouka/shou/11_sho_gaikatu.pdf

③ 言語活動の充実に関する指導事例集【小学校版】

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/gengo/1300873.htm

④ 英語教員のためのポータルサイト「えいごネット」

<http://www.eigo-net.jp/>

⑤ 仙台版スタンダード・カリキュラム「小学校外国語活動」(仙台市教育センター)

http://www.sendai-c.ed.jp/senkari/syou_dl/index.php?m=dp&n=syo_curriculum10

⑥ 仙台市教育センターHP・小学校外国語活動

http://www.sendai-c.ed.jp/kyouka_link/14gaikoku/index.html

(4) その他

① ALT の派遣について

② 小学校における先進的な英語教育に関する調査について